

様式3

移住立国あやべの実現に向けた「子育てするなら、綾部」プロジェクト

綾部市
綾部小学校区

事業の概要・背景

【概要】

学校、子育て支援団体、地元企業など子育てに関わる様々な主体の交流促進を図り、関係性を広げるとともに、子育て世代を孤立させないよう、地域と交わる場や機会を設けるなど、身近な地域社会と一緒に、まち全体で子どもを産み育てやすい機運の醸成と子どもの育ちを見守る環境づくりに取り組む。

【背景】

本市では女性有配偶者率が53.1%、三世帯世帯割合が21.9%と、府内他市町村と比して高く、合計特殊出生率は1.65と全国平均及び京都府平均を上回っている。また、職住近接や保育サービスの量的確保の割合も府平均を上回っており、子育て環境は比較的良好であると考えが、一方で人口減少の流れの中で、子どもの数自体が減少しており、子どもを通じて親が繋がる機会の減少により、子育て中の孤立感や負担感の拡大、さらには子ども同士の関係性の希薄化が懸念される。

主な事業

◇: 交付対象事業
◆: 関連事業

- ◇子育てでつながる地域連携加速化事業
- ◇「まちの学校」推進事業
- ◇全ての子どもの健やかな成長育み事業

成果指標

- 子育て支援拠点施設入館者数(延べ人数)
- 子育て環境や支援への満足度
- 子育て世代(25~49歳)の「転入者数-転出者数」

令和3年(基準値)

令和8年
(目標値)

0人

9,500人

—

60%

27人

50人

エリア一体で取り組むポイント

ポイント

ものづくりのまちであるとともに職住近接のコンパクトなまちならではの、地域と地元企業等が一体となって子育て支援や子どもの学び・体験を応援するまちづくり

- 市中心部の駅近くの都市機能集積地区へ新たに整備する子育て支援拠点に、子育て世帯の交流を生み出す中心的な情報発信拠点とした機能を持たせる。
- 保健福祉センター等の地域の各拠点や、学校、子育て支援団体等と連携し、食育等の体験型教育など、健やかな育ちと学びの取組を実施。
- 子育て支援拠点に隣接する北部産業創造センターにおいては、子どもたちのものづくり技術体験など、ものづくりのまち・職住近接のまちならではの取組を通じて、働く人にとっても子育てを身近に感じてもらえる取組を実施。
- 子育て支援拠点と同一建物に移転整備する図書館においても子育て支援に資する取組を多数実施。

綾部駅周辺の市街地エリアにおいて、地域や地元企業など多様な主体が子育てに関わることにより、ものづくりのまちであり、職住近接のコンパクトなまちならではの、子育て支援や子どもの学び・体験を応援するまちづくりを進める。

